

戸籍の電算化(来年10月)誤字を正字に

大分市では、来年10月より戸籍の電算化を予定して準備がすすめられています。それにともない、誤字を正字に書き換える必要性が出てきます。

文字に愛着

慎重な対応を

戸籍の文字について「代々使われてきたもので、大事にした」「市役所からくる通知の字が、自分たちが日ごろ使う字と違う。変えて欲しい」など、さまざまです。こうした1人1人の気持ちを大切にしながら電算化をすすめていく必要があります。

大分市には「現在戸籍が156674戸籍あり、その戸籍内に記載されている人は405099人です。そのうち誤字を使用している可能性のある人は、約2万人いるのではないかと」と市担当者は話しています。

おとなりの別府市では、51200戸籍のうち、誤字の訂正を告知した数は約5000件、その他の世帯については市報などで広報で周知しています。

戸籍の字が変わると

各種手続きに費用が?

戸籍の文字の変更にもない、免許証の書き換えや金融機関の通帳の書き換えなどが必要となります。「法改正や行政の都合によつて生ずる手続きですので、戸籍の電算化にともなう各種の手続きに証明が必要になった場合、どのように対応を考えているのでしょうか」という意見があります。

広次市議の談話

市担当者からは「戸籍の訂正のための『告知書』を送る件数については検討中。各種手続きについては、『告知書』があれば、手続きができる」と聞いています。『告知書』がない人でも、変更の必要な人にも無料でできるように要望しています。

広次
ひるっぐ
忠彦
通信

No. 170

2006年9月5日

日本共産党大分市議団

すいとん汁を食べました 敷戸地域9条の会のみなさんと



8月19日、「戦時中や戦後直後に食べたすいとん汁を食べてみよう」となりました。団子は粉カス(小麦粉を製粉した後のカス)、入れる具は干したイモガラだけ、味は塩だけ。

「やっど飲み込んだ」(30代男性)など、当時の食糧難の一端をみたような気がしました。こんなものを食べなくてよい社会でいられるように

がんばりましょう。

活動ピックアップ

8月1日 大分教育長への申し入れ。小中学校の学校選択制、幼稚園の廃園など、教育委員会にかかわる問題が山積しています。

8月8・9日 原水爆禁止世界大会・長崎に参加。国際交流会議には、はじめて参加できました。同じフロアで海外代表・参加者の発言を聞くことができました。

8月20・27日 敷戸小学校、植田東中学校の早朝清掃に参加しました。子どもと保護者がいっしょに取り組むことに意義はあると思います。同時に、学校への予算を増やし、行政の責任で整備・清掃をおこなう必要もあるのではないのでしょうか。

夏はお祭り! 火群祭り、セタ祭り、敷戸祭りなどの祭りで、裏方をやったり、参加をしたり... あつい夏でした。